



食物栄養科 講師

青木 慎悟 (あおき しんご)

Aoki Shingo

自己紹介 (プロフィール)	私が病院栄養士を志すようになったのは、大学で臨床栄養を教えてくださった新井先生のお話がきっかけでした。栄養学はとても範囲の広い学問ですが、どこか一部分でも心の底から面白いと感じるものに出会えると、その他の学習もどんどんと楽しくなっていきます。私もその様なきっかけを与えられるように、栄養学を通じて学びの楽しさ、面白さを伝えていきたいです。
学生へのメッセージ	エビングハウスの忘却曲線によると、人は一度覚えたことも、全く復習しないと1週間で7割以上も忘れてしまうそうです。学習を授業中だけに留めずに、短期大学の2年間、学んだことの復習と実践を繰り返しながら、どんどんと力を付けていってください。継続は力なりです。継続こそ、あなたの力になります。
保有学位	修士 (食品栄養科学) 静岡県立大学
保有資格・免許	管理栄養士
研究分野	臨床栄養 (特に2型糖尿病の食事療法) 生活習慣病
現在の研究テーマ	生活習慣病の発症に関与する遺伝要因と環境要因の相互作用について (共同) 2型糖尿病患者の血糖値と栄養摂取量の関連について (共同)
主な担当科目	栄養生理学実験 臨床栄養学実習
学内での活動	自己点検評価委員会ワーキンググループ委員 カリキュラム委員会委員 学外実習委員会委員
所属学会	日本病態栄養学会 日本栄養改善学会 日本食育学会

主な職務実績（抜粋）

事項 (単独・共同)	年月日	概要
糖尿病食の美味しいレシピ集（共同）	H24	依田先生、三科先生とともに、学生たちが考案した糖尿病食のレシピについて、加筆、編纂作業を行った。作成したレシピ集は山梨学院短期大学ウェブサイトに掲載した。
1 型糖尿病サマーキャンプ栄養スタッフ（共同）	H24～	岡本先生、関戸先生、学生とともに、毎年8月に行なわれている「やまびこの会」サマーキャンプに栄養スタッフとして参加した。2012年の研究結果については、2013年5月の日本食育学会、9月の日本栄養改善学会における発表を予定している。

主な教育研究業績（抜粋）

著書、学術論文等 (単著・共著)	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等	概要
The combined effect of the T2DM susceptibility genes is an important risk factor for T2DM in non-obese Japanese: a population based case-control study. (共著)	H24.2	BMC Medical Genetics	日本人集団において、白人やアジア人を対象としたゲノムワイド関連解析で検出された糖尿病感受性遺伝子近傍の一塩基多型の個体差が、2型糖尿病の発症に与える影響を解析した。その結果、糖尿病の発症には単独では効果が小さい複数の感受性遺伝子の積み重なりが大きく関与していることが分かった。さらに、感受性遺伝子の影響は肥満でない人たちでより強く現れていた。